

オカダアイヨン

鉄骨切断具

適用範囲		型式	TS300RCM	TS500RCL FR	TS500RCL ARTS/HR	TS610RCL FR	
		質量 kg	1.180	2.450	2.590	3.650	
		取付可能機体質量 (単位 t)	10~16	18~25	18~25	30~40	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値			
旋回装置	旋回ベアリング	取付ボルトサイズ	mm			16	
		締付トルク	N・m			275	
			kg・m			28	
		取付ボルトサイズ	mm				
締付トルク	N・m						
	kg・m						
油圧装置	シリンダー (図 1-1、1-2 参照)	開閉シリンダー					
		伸縮量	mm	20	20	20	20
		測定時間	分	3	3	3	3
圧砕・切断部	カッター (図 1-3 参照)	カッターの隙間					
		基準値	mm	0.5	0.5	0.5	0.5
		許容限度	mm	1.5	1.5	1.5	1.5
	圧砕ポイント	圧砕ポイント					
		基準値	mm				
		許容限度	mm				
		圧砕ポイント					
		基準寸法	mm				
許容限度	mm						

TS610RCL HR	TS-S550C FR	TS-S550C ARTS/HR				
4.000	2.400	2.510				
30~40	20~25	20~25				
検査基準値						
22	16	16				
700	275	275				
71	28	28				
20	20	20				
3	3	3				
0.5	0.6	0.6				
1.5	1.6	1.6				

1. 開閉シリンダー伸縮量の測定（両開き型）

- ①測定具を地面から浮かせた状態で垂直に保持し、アームを全開状態（シリンダー収縮）で行う。
- ②ショベルのエンジンを停止してからホース内の残圧を抜き、aのストップバルブを閉じる。
- ③L部の寸法測定を行い、3分間経過後に再度L部の寸法測定し、その差を伸縮量とする。
- ④ダブルシリンダー型は左右2本のシリンダーを測定すること。
- ⑤シングルシリンダーで2ロッド型シリンダーの測定は反対側のロッドも測定すること。

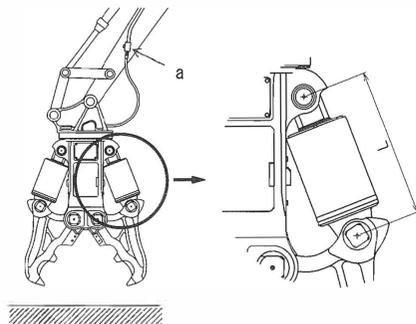


図 1-1 開閉シリンダーの伸縮量測定（ダブルシリンダー型）

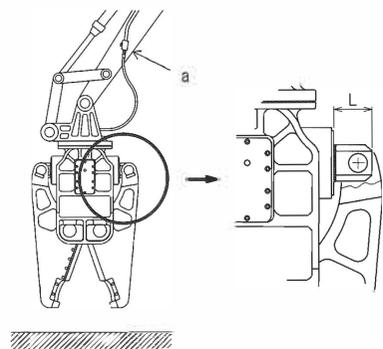


図 1-2 開閉シリンダーの伸縮量測定（シングルシリンダー型）

2. カッターの隙間測定（両開き型）

- ①本体を水平に置きアーム全閉状態（シリンダー伸長）で測定する。
- ②すきまゲージによりB寸法を測定する。

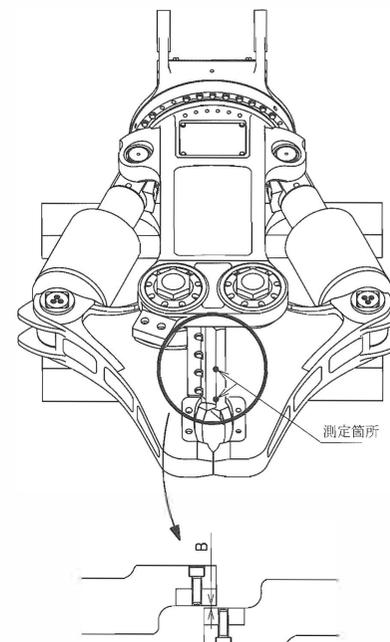


図 1-3 カッターの隙間測定